



【発行所】  
 独立行政法人国立病院機構 岩手病院  
 岩手県一関市山目字泥田山下48  
 Tel : 0191-25-2221  
 Fax : 0191-25-2157  
<http://www.hosp.go.jp/~iwate>  
 発行責任者 櫻井 誠

## HappyTime (ハッピータイム) の紹介

あすなる病棟での誕生会は昨年度まで各病棟で行っていましたが、平成 30 年度から「HappyTime」と名前を変え、3 個病棟合同で毎月行っています。

会場となる療育訓練室の入口では、風船の門で誕生者のご家族の皆さんをお出迎えし、部屋の中もたくさんの風船で飾り付けしています。

誕生者のご紹介、病棟師長からのお祝いの言葉の後は、2 チームに分かれてのすごろくゲームです。看護師が駒となり、止まったマスには尻文字やくすぐり、一回休みやお面での仮装など、楽しいお題がたくさんあります。みなさん元気にさいころを振ってゲームを楽しまれています。

そしてゲームの後は最大のお楽しみ、大きなホールケーキの登場です。誕生者のみなさんの目の輝きが変わります。ケーキを切る、盛り付ける、いただきますの挨拶などの係をルーレットで決めて、ろうそくの火をみんなで吹き消します。大きなお口であっという間に食べる方、ゆっくりと味わう方、ご家族と一口ずつ交互に食べる方など、皆さんそれぞれにケーキを堪能

しています。

おみやげに好きな色のハート型風船をもらい、楽しいひと時を過ごしていただいています。

今後も誕生会をはじめとするいろいろなイベントや活動を楽しく過ごしていただけるよう、職員一同工夫していききたいと思います。

療育指導室長 安齋 康雄



## 新採用者振り返り研修を実施して ～漢字一文字に込める思い～

### 1 病棟副看護師長 懸田 恵

今年度の新採用者 28 名が、「その人らしさを支える看護とは」のテーマでレポートし、発表を通して一年間を振り返りました。

それぞれの発表を聞いて、業務や看護技術を覚えるのに精一杯だったことを互いに共感しました。また、信頼関係を築くためにはコミュニケーションが大切であることを改めて学んだなどの感想がありました。また、患者さんの気持ちをくみ取ることができたことで自分が成長したことを実感したり、これから一層知識・技術・観察力を身につけられるように努力が必要であるなどの課題が挙げられました。

そして、レポートでの振り返りを基に、次年度の抱

負を漢字一文字で表現しました。漢字には一人ひとりの思いが込められています。「積」は色んなことを積み重ねていきたいという思い、「進」は確認しながら一歩ずつ積み成長していきたいという思い、「健」は自分の健康管理をして患者さんの健康を支えたいという思いなどです。この一年が充実したものであり、得たことを糧にして希望を持って進んでいこうという決意が感じられました。

知識や技術を高め、精神的にも成長した研修生は、4 月から後輩を迎えます。看護師 2 年目にそれぞれの課題が達成できるよう、これからも看護部全体で見守り支えていきます。



## 認定看護管理者教育課程サードレベル研修を受講して

看護部長 赤間 紀子

今年度、国立病院機構で初めての「サードレベル研修」が開催され、昨年 10 月から今年 1 月まで、3 期にかけて 180 時間の研修を受講させていただきました。

講義やグループワーク・教科目毎のレポート、臨地実習等々多くの課題があり、研修センターの宿舎にカンヅメ状態になり、朝方まで専門誌



とパソコンに向き合うこともありました。体力と能力が追いついていくか…? と不安に苛まされたこともありましたが、同じグループメンバーや受講生に助けをいただき、無事修了証書をいただくことができました。

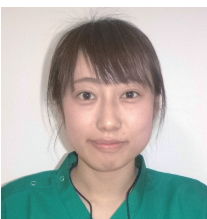
今後は、多様なヘルスケアニーズをもつ患者・家族・地域住民に対して質の高い組織的看護サービスの提供を目指していきたいと思っております。長期間の研修を受講できたことを、院長はじめ職員の皆様へ感謝いたします。

## 理学療法士実習技能研修に参加して

理学療法士 鈴木 菜央

1 月 17 日木曜日・18 日金曜日に仙台医療センターにて行われた理学療法士実習技能研修プログラムに、リハビリテーション科から 2 名が参加してきました。

2 日間を通して、呼吸器・循環



器疾患の評価のポイント、パーキンソン病の方や重症患者への心理面での関わり方などを教えていただきました。また、グループワークでは症例検討を通して、他院の方の意見を聞く貴重な機会となりました。

今後、研修会を通して得た知識を臨床で実践していくように努力していきます。

## 院内カンファランス ～インフルエンザウイルスによる感染予防・診断・治療～

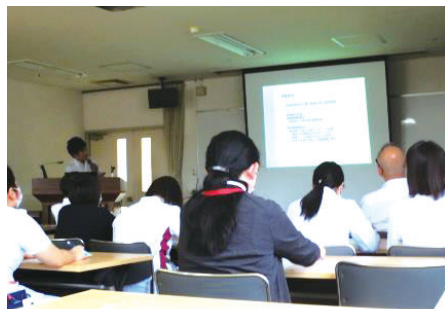
臨床検査技師長 三上 秀光

1 月 10 日木曜日の院内カンファランスは、インフルエンザウイルスによる感染予防・診断・治療をテーマに開催しました。

インフルエンザウイルスは 11 月～4 月にかけて流行し、1 月以降にピークを迎えます。そのようなウイルスに対して正しい知識を身につけておくことが必要です。「ウイルスによる感染は如何に伝搬して行くのか」「どのような感染防止対策があるのか」「インフルエンザ診断薬の発達が早期診断を可能としているがその検体採取方法は正しいのか」「治療薬はそれぞれにどのよ

うな特徴を持っているのか」などを学びました。

講師を担当した遠藤・前田臨床検査技師、坂内調剤主任の 3 講師により、日頃の曖昧な知識が確かなものになったと感じました。今回の講演が日頃の院内感染防止の一因を担えると幸いです。



## 臨床研究部発表会開催

臨床研究部長 豎山 真規

2 月 14 日木曜日、本年度の臨床研究部発表会で 9 題の発表がありました。

看護部からは、①認知症ケアチームの立ち上げからの取り組み、②呼吸器を装着し、ベッド上で過ごしている患者さんが車いす乗車の機会をもつことによって笑顔を取り戻すに至った報告、臨床工学室からは、③在宅呼吸器管理をしている患者さんのための緊急医療手帳の新たな工夫について報告がありました(写真)。検査室からは、④急性発症 CIDP\*の電気生理学的所見の変化について、⑤気管切開症例の呼吸器検体からの分離菌について、⑥ CONUT 法による栄養評価について、機能訓練室からは、⑦ Honda 歩行アシスト導入に向けての検討、神経内科からは、⑧再構成 CT 画像による気管カニューレの位置確認、⑨東北地区スモン

病患者さんにおける骨折についての報告がありました。

いずれも日ごろの地道な活動が実を結んだ聞きごたえのある報告でした。発表、聴講で参加して下さった皆様、ありがとうございました。



※ CIDP：慢性炎症性脱髄性多発神経炎



## クオリティマネジメントセミナーに参加して

運動療法主任 山崎 健太郎

2月20日水曜日に国立病院機構本部にて開催されましたクオリティマネジメント（以下QM）セミナーに参加してきました。

セミナーでは、グループ毎に自院のQM活動について報告するとともに意見をいただきながら活動を振り返りました。

模範例として報告されていた病院には、共通した特



徴があることが指摘されておりました。それは、①本  
当に困っていることに対して取り組み、②多職種・多  
人数で活動し、③細かい期間で活動を見直し、④年度  
ごとに活動指標（目標や関わる部署）を変化させる  
という4点でした。

次年度以降もQM活動は継続されることが本セ  
ミナーで発表されております。今後、学ばせていただ  
いた意見や特徴をしっかりと共有し、医療の質向上に寄  
与したいと思います。

## 医療と介護の多職種連携

薬剤科長 佐々木 聖一

最近、医療関係の雑誌等で地域  
連携と多職種連携に関する記事が  
取り上げられています。

また、ポリファーマシーに関す  
るものも同様な傾向が見られます。  
どの記事も「地域」で、「多職種」が、  
「コミュニケーション（連携）」を図り、患者さんの「情  
報を共有」し、サービスを提供していることが述べら  
れています。

先日開催された「一関市医療と介護の連携連絡研修  
会」においても、薬剤師からは一関の医師（開業医）  
と薬剤師（調剤薬局）とケアマネージャー（事業所）



によるポリファーマシーの解消と介護支援について、  
ケアマネージャーからは一関の医師（病院）と薬剤師  
（調剤薬局）とケアマネージャー（事業所）とヘルパー  
（事業所）による適切な薬物療法の継続についての発  
表がありました。その中で、薬剤師からは退院時連携  
カンファランスへの参加を図っていくと述べられ、ケ  
アマネージャーからは退院時連携カンファランスへの  
薬剤師（調剤薬局）の参加を期待していると述べられ  
ていました。

今回の研修会の発表を鑑みて、今後、薬剤師（調剤  
薬局）との連携を強めて多職種連携を図ってゆきたい  
と思います。

## 消防訓練実施

庶務班長 猪股 透公

年末も押し迫った12月27日火曜日に、医事室から  
の出火を想定した消防訓練を実施しました。

医事室からの出火では、応援者の進入経路が課題と  
なりましたが当初の想定どおりに訓練を実施しました。  
消防訓練参加が初めてという職員もいたことから、消  
火器の操作方法、避難経路や避難場所などの確保も重  
要となりました。

訓練終了後に立会した一関西消防署の署員の方から、  
雨天等も想定してチェック表はパウチにしたものを使  
用した方がよい、車イスでの避難では段差の部分に気  
を付けて歩く速さで避難するようになどの意見をいた  
だき、大変参考となりました。

今回の訓練で問題が多く見つかりましたので、今後、  
スムーズに避難誘導や消火活動ができるようにしてゆ  
きたいと思っております。

年末の寒い中、また、多忙な時期の実施となりました  
が、関係者の皆様のご協力に感謝いたします。



## 職員紹介 ①出身地 ②好きなこと ③何か一言

平成31年1月1日付採用



すずき なおみ  
鈴木 直美 医療事業社会専門員

- ①福島県泉崎村
- ②読書、美味しいものを食べること
- ③微力ながら皆様のお役に立てるよう  
に精一杯頑張ります。

平成31年2月1日付採用



みうら  
三浦 まどか 事務助手(医師事務補助)

- ①奥州市
- ②子供のスポ少の追っかけ
- ③早く仕事に慣れ、戦力になれるよう  
に頑張ります。

## 診療体制 (平成31年3月1日現在)

診 療 科		月	火	水	木	金
<b>神経内科</b>	午前 (再来)	豎 山	工 藤 <small>※物忘れ、 頭痛など</small>	千 田 (圭)	千 田 (光)	今 野
	午前 (新患)	千田 (光) (第1、3) 今野 (第2、4)	阿 部	豎 山	小 野	千 田 (圭) ほか
	午後	<small>※HAL外来</small> 今 野 (第1、3、5週)				<small>※リウマチ外来</small> 千 葉 (実) (最終金曜)
<b>呼吸器科</b>		芦 野	櫻 井	芦 野 <small>(禁煙外来)</small>	櫻 井	芦 野
<b>内 科</b>		櫻 井 <small>予約者のみ</small>		櫻 井 <small>予約者のみ</small>	阿 部	佐 藤 (良)
<b>外 科</b>		平 野 <small>予約者のみ</small>	平 野		平 野	
<b>小児科</b>			田 澤		仙台医療センターから (月2回 第2、4)	<small>※重症心身障害</small> 大 沼
<b>リハビリテーション科</b>		佐 藤 (智) <small>※ボトックス外来、 AGA外来など</small>			宮	
<b>歯 科</b>		佐 藤 (敦)	佐 藤 (敦)	佐 藤 (敦)	佐 藤 (敦)	
<b>その他</b>	専門外来 (赤字で表記) は、すべて予約制です。 予防接種は、火・木 9:00 ~ 11:00 の完全予約制です。			<small>※心療内科外来(午後)</small> 伊 藤  <small>※消化器内科外来</small> 仙台医療センターから  <small>※アレルギー(第2週)</small> 千 葉 (友)	<small>※皮膚科外来</small> 東北大学から	<small>※循環器内科外来</small> 羽根田 (第1、3週)

### 職場紹介 — あすなる6病棟 —

6病棟は岩手病院のてっぺんに位置する病棟で、6階からの眺望は抜群です。時々鳥が窓にぶつかりそうな勢いで飛んでいる姿もみることができます。

自立度の高い患者さんが多い当病棟は、今年の5月から、療養介助員の準夜勤務を導入しており

ます。日中は、療養介助員を含めた多職種による療育活動も行っています。

紙芝居を読む声に楽しそうにニコニコしてくれる患者さん達が、さらにさらに「元気いっぱい楽しく過ごせるように」とスタッフ一同頑張っています。

看護師長 高橋 秀子



### 人事異動

- 【平成 31 年 1 月 1 日付】採用  
鈴木 直美 医療社会事業専門員 (期間職員)
- 【平成 31 年 1 月 31 日付】辞職  
阿部 久美 看護師  
小野寺美岬 看護師
- 【平成 31 年 2 月 1 日付】昇任  
高橋 麻美 副看護師長 (看護師から)
- 【平成 31 年 2 月 1 日付】採用  
三浦まどか 事務助手



**【編集後記】** 1年は早いものでもう3月、部屋の窓に入る日差しも多くなってきました。私事ですが、庭仕事も忙しくなってきました。また、今年度の病院経営も明るく上向きです。

これから、異動される方との別れと新たに迎える方の出会いの時期となりますが、これまで一緒に病院を支えてこられた職員のみなさんありがとうございました。新たな職員を迎え、さらに飛躍できる1年にしていきたいと思ひます。  
(T.S)